

令和5年7月18日亀岡市教育委員会会議録

- 1 開会 午後2時00分
閉会 午後3時09分

2 出席委員

神 先 宏 彰 教育長
北 村 真 也 教育長職務代理者
末 永 礼 子 委 員
出 藏 裕 子 委 員
秋 山 伸 夫 委 員
松 浦 千 弘 委 員

3 欠席委員

なし

4 出席事務局職員

森 岡 浩 之 教育部長
川 口 雅 彦 次長兼総括指導主事
阿比留 綾 教育総務課長
今 西 恵 一 学校教育課長
樋 口 竜 次 社会教育課長
宮 本 かおり 社会教育課人権教育担当課長
岡 田 康 宏 歴史文化財課長兼文化資料館長
岩 崎 盛 雄 学校給食センター所長
小 川 博 久 図書館長
谷 口 正 二 みらい教育リサーチセンター所長
榎 本 祐 輔 教育総務課総務係長

5 傍聴者

なし

6 議事の概要

(1) 開会

○教育長が開会を宣言。

(2) 前回会議録の承認

当日配付となったため、次回に確認することとした。

(3) 教育長からの報告

○教育長から以下の報告があった。

◎亀岡市関係

- ・ 亀岡市教育支援委員会総会が開催し、委嘱状交付を行った。
- ・ 市議会定例会6月議会が開会されていたが、補正予算も承認いただくなか、6月30日に休会した。
- ・ 学校給食検討懇話会に出席した。亀岡市立学校の給食のあり方について議論いただき、ご意見を頂戴していくこととなる。
- ・ 校園長会議を開催し、新規採用職員の面談を行ったことの報告、夏季休業期間を前に留意事項等を指示した。また、第2部では、中学校ブロックに分かれ、人材育成について交流・協議を行った。
- ・ 地域こん談会が千代川町を皮切りに始まった。
- ・ 西部4町の地域こん談会では、育親学園を開校するにあたって多くの質問を受けた。
- ・ 保津町、曾我部町、東別院町、蕨田野町、篠町、亀岡地区中部においても地域こん談会に出席し、昨今の課題に対する質問をいただいた。
- ・ オクラホマ州立大学英語教員研修プログラムが7月24日から3週間にわたり行われ、亀岡市立学校の小学校教諭6名が参加するにあたり面談を行い、激励をした。また、当日出席者は市長面会も行った。
- ・ 吉川町、亀岡地区東部、東本梅町の地域こん談会には出席が叶わなかった。
- ・ 令和5年度第1回亀岡市立学校教職員安全衛生委員会については、今年度お世話になる委員に対し、直接、委嘱状の交付を行う予定であったが代理等の対応とした。

◎国・府等の関係

- ・ 南丹地区教科用図書採択協議会が行われたが、出席が叶わなかった。

(4) 報告事項

- ① 亀岡市立幼稚園運営規程の一部を改正する訓令について
- ② 市町村教育長・教育委員研究協議会について
- ③ 令和6年度小規模特認校児童募集について
- ④ 第1回亀岡市学校給食検討懇話会の開催状況について
- ⑤ 令和6年亀岡市はたちの会実行委員会について
- ⑥ かめおか霧の芸術祭「てとて ふれあう芸術展(仮)」について
- ⑦ 亀岡市新資料館(仮称)整備検討委員会設置要綱について
- ⑧ 育親学園の開校に向けて
- ⑨ 七谷川野外活動センター予約者情報の流出の可能性について
- ⑩ 異物混入に係る対応について

○各課長等からの報告を受けて、委員から次の質問・意見があった。

<市町村教育長・教育委員研究協議会について>

阿比留教育総務課長 日程については、本日お配りした資料のとおりである。
6月29日には、既に出蔵委員に参加いただいた。他の委員への情報共有のため、お話をいただきたい。

出 蔵 委 員 オンライン参加をさせていただいた。75分を2回、違うテーマで分科会に参加し、グループ協議を行った。私は、「学校における働き方改革について」と「部活動のあり方について」の分科会に参加したが、文部科学省の職員から現状報告も含めお話しいただき、意義あるものであった。また、オンラインではあったものの、対面に匹敵するような形で進めていただけた。働き方改革については、人材確保、人材育成の重要性を改めて認識をした。また、亀岡市の事例を報告したところ、他市の教育長からたいへん興味深くご質問をいただいた。部活動のあり方については、他府県でも苦慮されている様子であり、教職員の処遇改善を訴えられている市町が多くあった。

<令和6年度小規模特認校児童募集について>

秋 山 委 員 リーフレットについては、見やすく変更いただいたと思う。説明会についても、ネット申し込みができるということ为好いと思う。感想ではあるが、各学校の状況をみた時、保津小学校の特色がわかりにくいと感じたので、次年度以降改善されればよいと考える。また、現状、課題等があれば報告願いたい。

今西学校教育課長 児童が居住している地域と通学している地域が異なるため、地域行事の開催において児童が体験することについての共有が図りにくいといったお声をいただいたことはある。

末 永 委 員 この制度については、これまで一定の人数が集まらないといったこと、また一定の年数を経て、総括的なことを行うべき時期になっているのではないかといった論議が教育委員会のなかであったことを記憶している。昨年度から、リーフレットの形になり効果を発揮したのかはわからないが、人数が増加している。今年もよいリーフレットができているので、希望者がどのように推移してくるのか関心を持ってみさせていただきたい。長期的な視点から判断していくことも必要だと思うので、またどこかのタイミング

で話をすることも重要と考える。

神先教育長 小規模特認校制度については、児童の不登校支援の部分も切り離せない問題である。しっかり分析していくことも必要であり、また教育委員会で一度議論をしたいと思う。

<令和6年亀岡市はたちの会実行委員会について>

秋山委員 昨年度のはたちの会の開催報告があった際に申し上げた事項でもあるが、市外の学校に通われていた方々に配慮し出身中学校別の席次ではなく出身地域とした席次にしてはどうかと提案したが、その後検討状況はどうか。

樋口社会教育課長 昨年度のご意見も踏まえ、今年度の実行委員会でこれから検討していくこととなっている。

<異物混入に係る対応について>

松浦委員 まずは大事に至らずよかったと感じている。食品衛生法や学校給食法等とは別に HACCP(ハサップ)という基準があると思う。今後、新しい給食施設を作っていくにあたっては、そういった基準を取り入れた学校給食を行っていかなければならないと思うので参考にしていきたい。安全安心な学校給食の提供が一番であると考えている。

岩崎学校給食センター所長 HACCPの基準は、現在、委託業者へ遵守するようお願いをして委託している。逐一確認は行っているが、経年劣化も否めない状況にもなっている。引き続き、安全安心な学校給食の提供を行っていききたい。

(5)閉会

○教育長が閉会を宣言

以 上

○教育長職務代理者

○委 員

○委 員

○委 員

○委 員

○教 育 長

(調整者 教育総務課長)